



地域の特徴的な動き

- I. 九州財務局管内の経済構造
- II. 最近の九州財務局管内の経済情勢



【熊本】



【大分】



【宮崎】



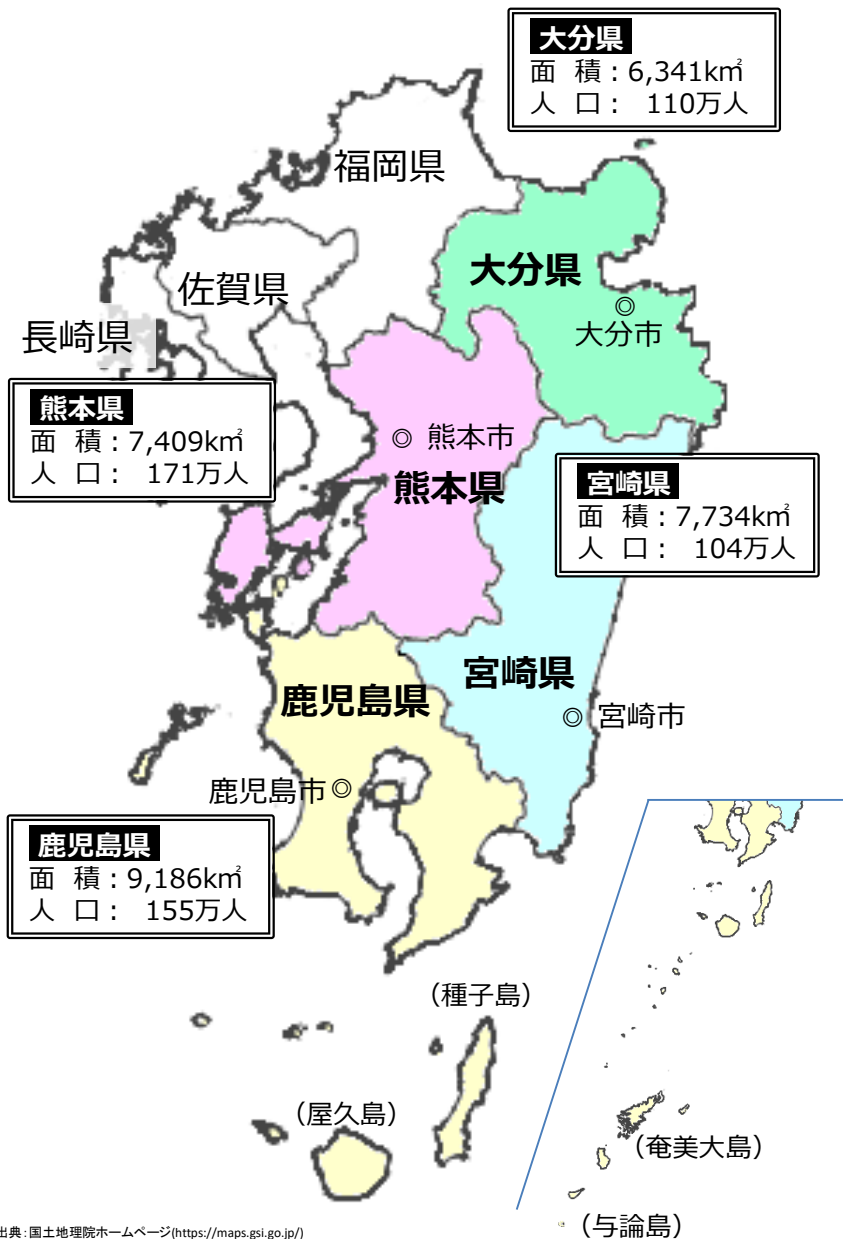
【鹿児島】



【名瀬】

令和6年8月
九州財務局

I. 九州財務局管内の経済構造

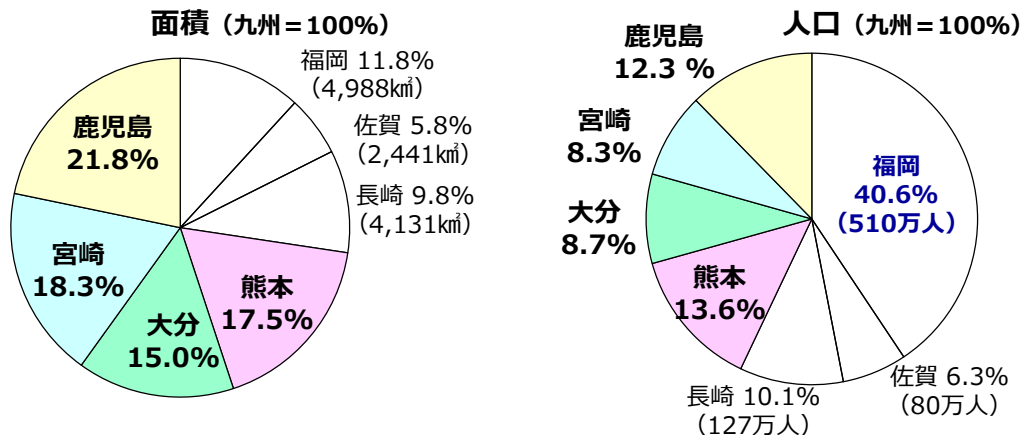


出典：国土地理院ホームページ(<https://maps.gsi.go.jp/>)
地理院地図を加工して作成

(注)構成比の数値の合計は、端数処理の関係で100とならない場合がある。

1. 面積・人口

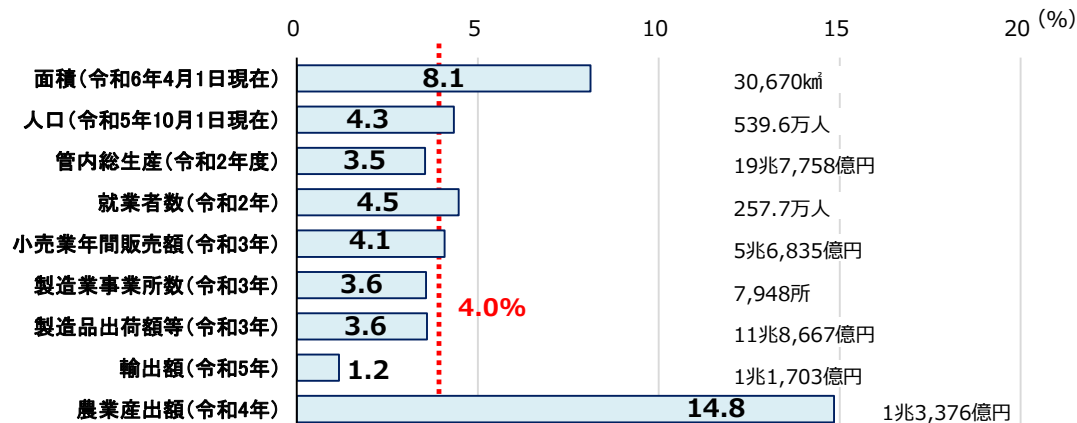
- 管内4県（熊本・大分・宮崎・鹿児島）の面積は全国の8.1%、人口は全国の4.3%
- 九州（沖縄を除く）をみると、管内4県の面積は72.6%、人口は43.0%



(出所)国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」(令和6年4月1日現在)、総務省「人口推計」(令和5年10月1日現在)

2. 経済規模

管内4県の経済規模は、主な指標でみると、概ね全国の4%であるが、農業産出額については全国の約15%を占める



(注)輸出額は確々報値。製造業事業所数および出荷額等は全事業所の値。

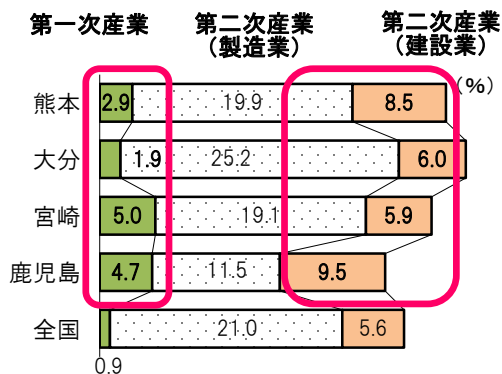
(出所)国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」、総務省「人口推計」、内閣府「県民経済計算」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」、門司税関「九州経済圏各県別の貿易」、総務省「国勢調査」、農林水産省「生産農業所得統計」

I. 九州財務局管内の経済構造

3. 管内総生産

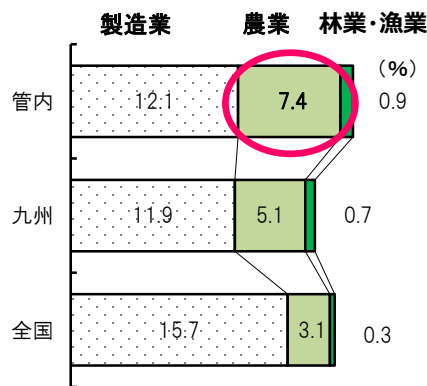
- 第一次産業、建設業の割合が全国平均より高い
- 農業就業者の割合が高い一方、製造業就業者の割合が低い

管内総生産の産業別割合



(出所) 内閣府「県民経済計算」(令和2年度)

就業者数の産業別割合

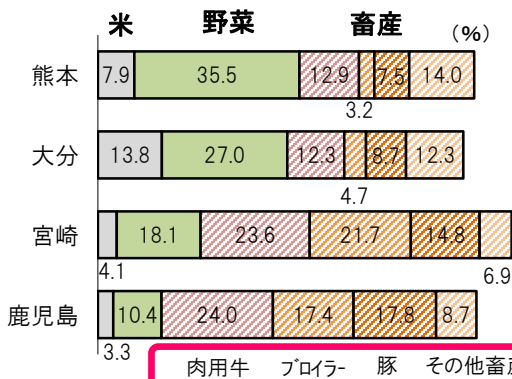


(出所) 総務省「国勢調査」(令和2年)

4. 農業産出額

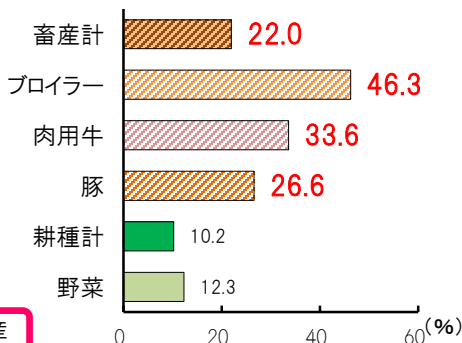
第一次産業では畜産の割合が高く、ブロイラー、肉用牛、豚の全国シェアが高い(温暖な気候、水はけの良いシラス台地、飼料(焼酎の搾りかす)等)

農業産出額の品目別割合



(出所) 農林水産省「生産農業所得統計」(令和4年)

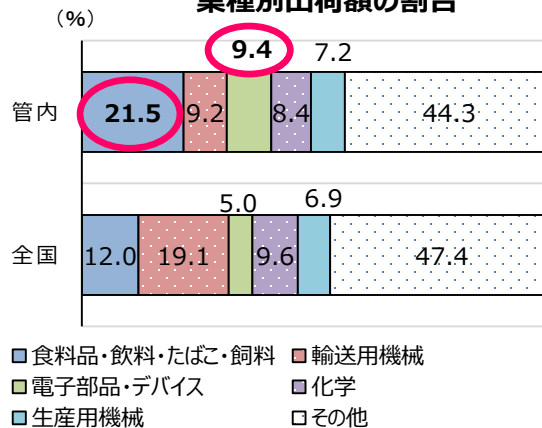
主要農産物の全国シェア



5. 製造品出荷額等

「食料品等」、「電子部品・デバイス」などの割合が全国平均よりも高く、「食料品等」では焼酎の全国シェアが高い

業種別出荷額の割合



(出所) 総務省・経済産業省「令和4年経済構造実態調査」(令和3年実績)

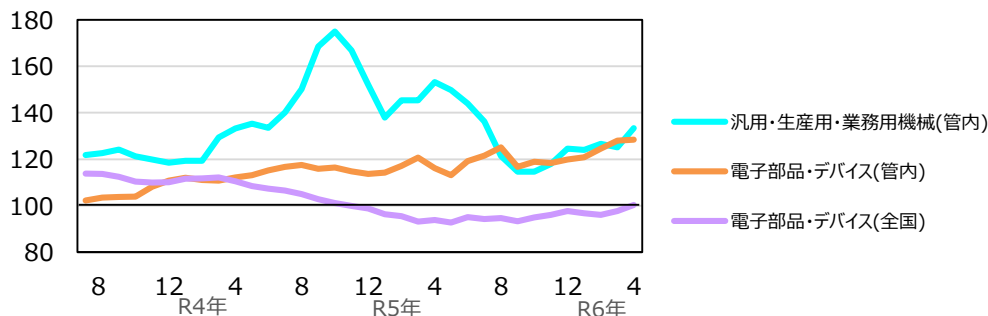
焼酎メーカー売上高ランキング

順位	商号	所在地	主力銘柄	売上高 (百万円)
1	霧島酒造(株)	宮崎	黒霧島	58,437
2	三和酒類(株)	大分	いいちこ	25,045
3	雲海酒造(株)	宮崎	木挽BLUE	14,260
4	濃田酒造(株)	鹿児島	海童	13,894
5	二階堂酒造(有)	大分	二階堂	13,500
6	薩摩酒造(株)	鹿児島	さつま白波	7,700
7	若松酒造(株)	鹿児島	薩摩一	7,270
8	榊宮崎本店	三重	キンミヤ焼酎	7,262
9	本坊酒造(株)	鹿児島	桜島	6,531
10	高橋酒造(株)	熊本	白岳	5,927

(出所) 帝国データバンク(令和4年調査結果)

半導体関連の生産活動をみると、全国では落ち着きが見られるものの、管内の「電子部品・デバイス」や「汎用・生産用・業務用機械」は高水準を維持している

半導体関連の生産指数(管内・3か月移動平均・季節調整値)



(出所) 経済産業省「鉱工業生産指数」

(注) 全国の指数は令和2年基準、管内の指数は熊本県(令和2年基準)、大分県(令和2年基準)、宮崎県(平成27年基準)、鹿児島県(平成27年基準)の指数値を基に九州財務局において算出

I. 九州財務局管内の経済構造

- 管内には、**画像センサーや車載向けマイコン、パワー半導体**等で高い世界シェアを占める半導体メーカー、製造装置メーカーが集積。
- 熊本県では、TSMC（台湾積体回路製造）熊本第1工場が竣工（2024年2月24日開所）し、年内の出荷開始を予定している。また、周辺地域で**ソニー熊本第2工場**が建設中であるほか、**TSMC熊本第2工場**の建設も決まり、**半導体関連企業の集積がさらに加速する見通し**。

管内の主な半導体関連企業

- ◎ 一貫工場
- 前工程工場
- 後工程工場

荏原製作所 熊本事業所
(半導体製造装置)

○三菱電機パワーデバイス製作所
熊本事業所 (パワー半導体)

◎ソニーセミコンダクタ
マニュファクチャリング 熊本TEC
(画像センサー)

※ソニー熊本第2工場
着工時期: 2024年4月

東京エレクトロン九州
(半導体製造装置)

○ルネサスセミコンダクタ
マニュファクチャリング 熊本川尻工場
(LSI、車載向けマイコン)

京セラ 川内工場
(半導体部品等)

京セラ 国分・隼人工場
(積層セラミックコンデンサ等)

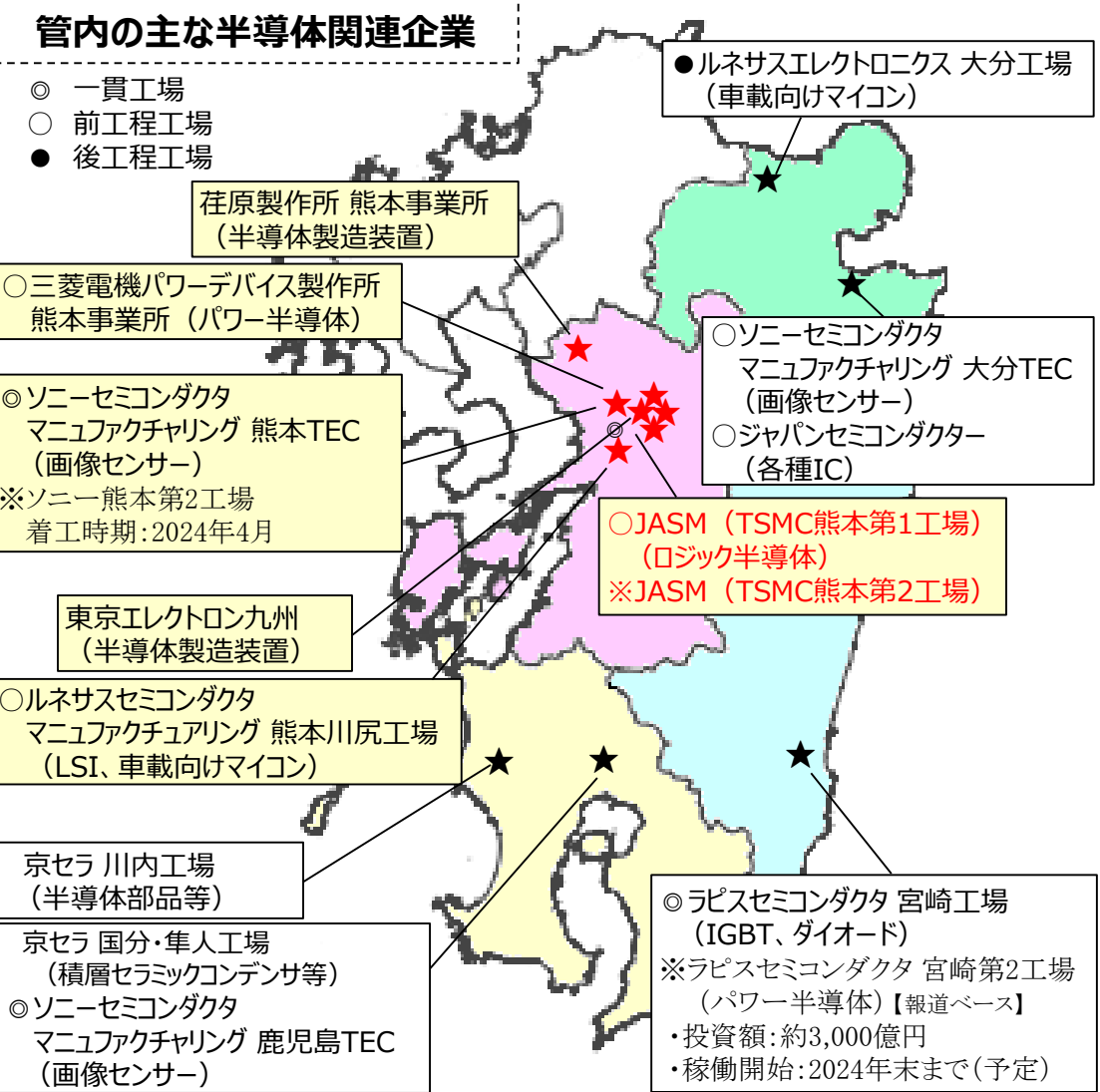
◎ソニーセミコンダクタ
マニュファクチャリング 鹿児島TEC
(画像センサー)

●ルネサスエレクトロニクス 大分工場
(車載向けマイコン)

○ソニーセミコンダクタ
マニュファクチャリング 大分TEC
(画像センサー)
○ジャパンセミコンダクター
(各種IC)

○JASM (TSMC熊本第1工場)
(ロジック半導体)
※JASM (TSMC熊本第2工場)

◎ラピスセミコンダクタ 宮崎工場
(IGBT、ダイオード)
※ラピスセミコンダクタ 宮崎第2工場
(パワー半導体)【報道ベース】
・投資額: 約3,000億円
・稼働開始: 2024年末まで(予定)



TSMC熊本第1工場(熊本県菊陽町)

運営会社: Japan Advanced Semiconductor Manufacturing
株式会社 (JASM)



FAB棟

オフィス棟

TSMC熊本工場の概要

	第1工場	第2工場
設備投資額	約86億米ドル	約139億米ドル
日本政府 最大助成額	4,760億円	7,320億円
主要製品	ロジック半導体 (22/28nm・ 12/16nm)	ロジック半導体 (6nm・12nm・40nm)
用途	画像センサー、自動車 など	人工知能 (AI)、 スマートフォン、自動車、 電子機器など
初回出荷	2024年12月	2027年10~12月
従業員	約1,700名	約1,700名

(資料)「九州経済の現状2023」(九州経済産業局)を基に九州財務局において加工して作成

出典: 国土地理院ホームページ(<https://maps.gsi.go.jp/>)
地理院地図を加工して作成

(資料)「半導体に関する最近の政策動向についてー令和6年2月」(経済産業省)及び新聞報道等を基に九州財務局において加工して作成

Ⅱ. 最近の九州財務局管内の経済情勢

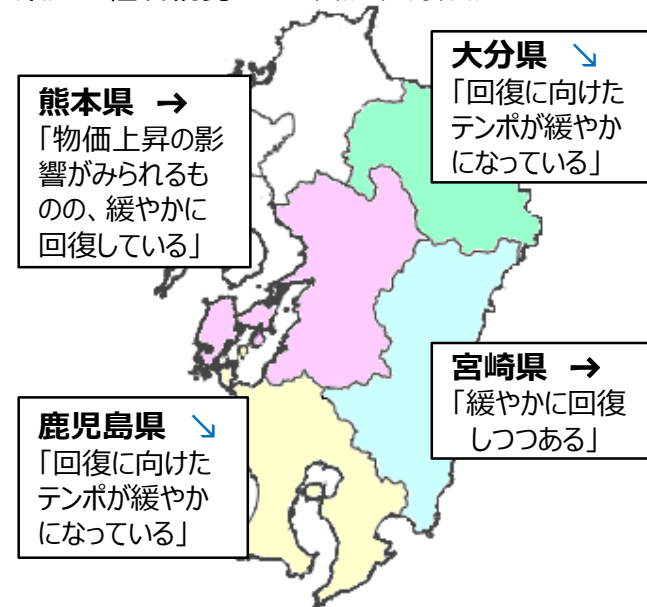
	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	回復しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	➡	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある。 ○ 生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるなか、横ばいの状況にある。 ○ 雇用情勢は、持ち直している。

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	➡
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	➡
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	➡
住宅建設	貸家などで前年を上回っており、緩やかに持ち直している	一進一退の状況にある	↘

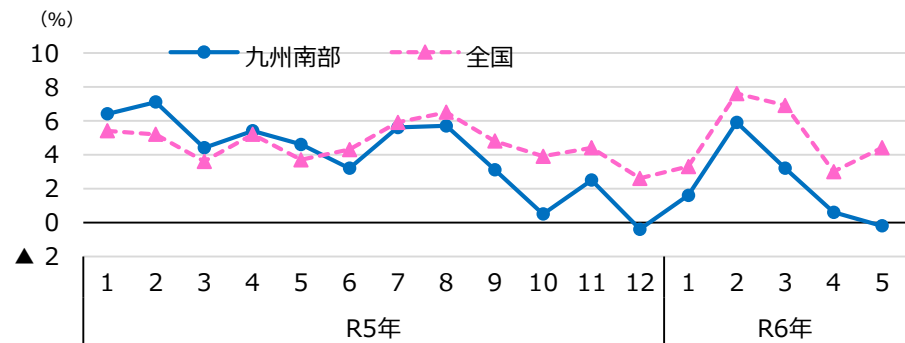
＜県別の経済情勢＞ ※令和6年7月判断



（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費 ～物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある～

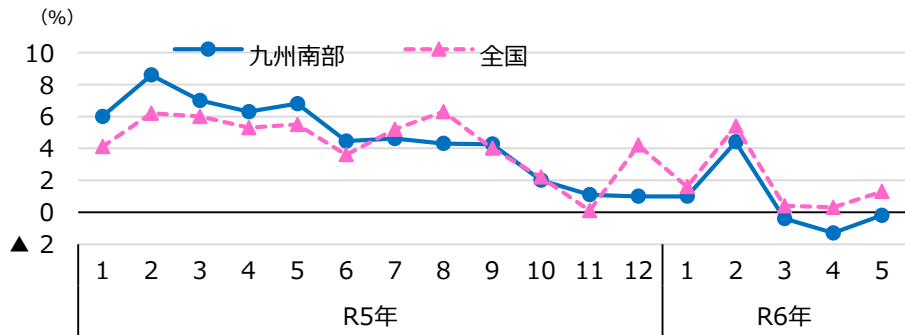
【百貨店・スーパー販売額(前年比)】



(注)全店ベース。

(出所)経済産業省

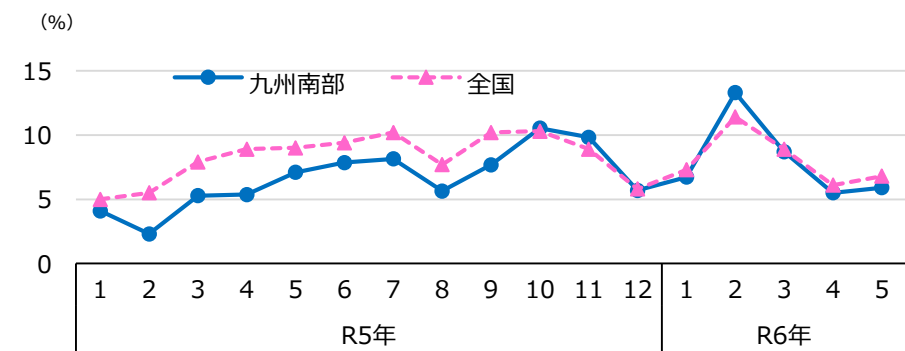
【コンビニエンスストア販売額(前年比)】



(注)全店ベース。

(出所)経済産業省

【ドラッグストア販売額(前年比)】



(注)全店ベース。

(出所)経済産業省

- 百貨店・スーパー販売は、物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある。
- コンビニエンスストア販売は、堅調である。
- ドラッグストア販売は、食料品を中心に好調である。
- ホームセンター販売は、弱含んでいる。

※ 主なヒアリング結果

(百貨店・スーパー)

➢ 宝飾・美術品などの高額品及び台湾・中国客を中心に免税売上げが引き続き好調である。

➢ 物価上昇による極端な客離れは生じていないが、例えば、牛肉よりも鶏肉や豚肉などの安価な商品が選ばれる傾向があるなど、商品の選好がより鮮明になっている。

(コンビニエンスストア)

➢ 低価格帯のパンやおにぎりが好調な一方、弁当類は高価格から購入を避けられている。

(ドラッグストア)

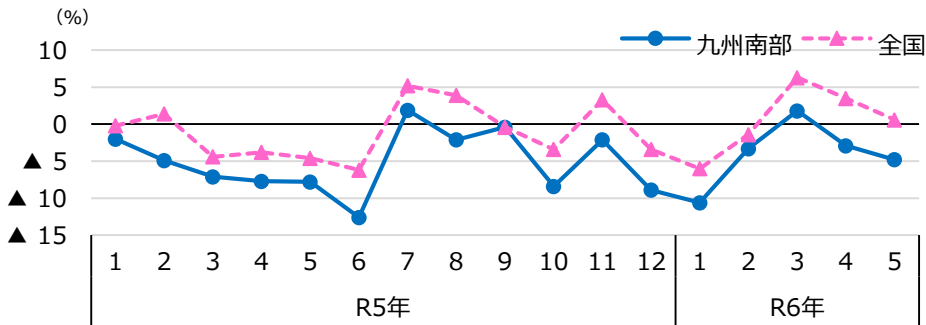
➢ 医薬品や化粧品のほか、取扱店舗を増やしている食料品の売上げが好調である。

(ホームセンター)

➢ コロナ禍の巣ごもり需要で高まったDIY関連、キャンプ用品需要が下火になるなか、値上げが相次ぎ消費マインドが低下しているため、売上げが伸びない。

1. 個人消費 ～物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある～

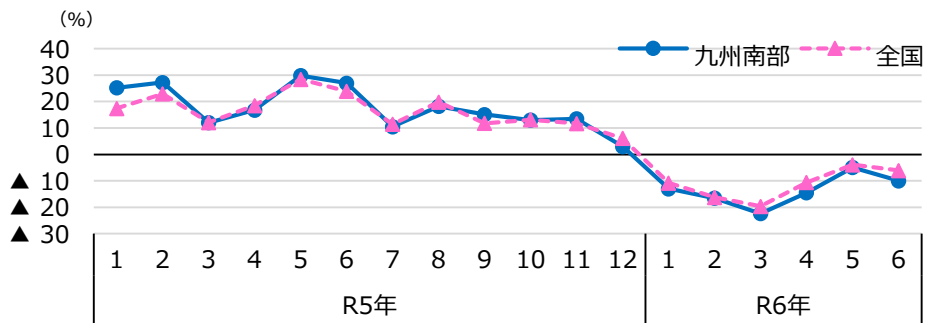
【家電大型専門店販売額(前年比)】



(注)全店ベース。

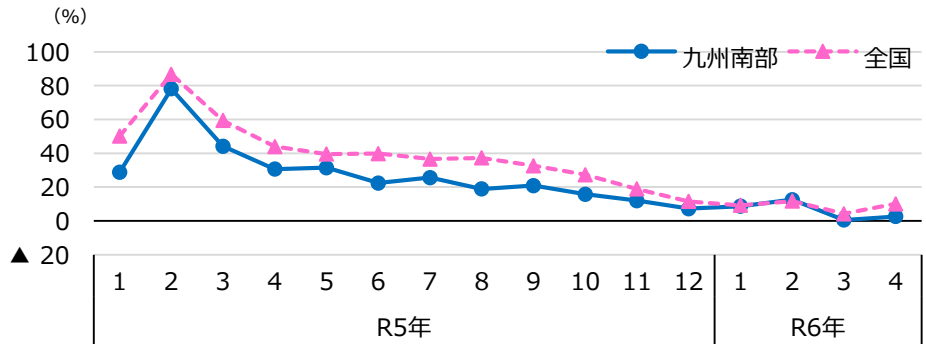
(出所)経済産業省

【乗用車新車登録・届出台数(前年比)】



(出所)日本自動車販売協会連合会、各県運輸支局及び全国軽自動車協会連合会

【延べ宿泊者数(前年比)】



(出所)観光庁

- 家電大型専門店販売は、横ばいの状況にある。
- 乗用車の新車販売は、一進一退の状況にある。
- 宿泊は、緩やかに回復している。

※ 主なヒアリング結果

(家電大型専門店)

- 物価高により来店客数は前年を下回るものの、気温上昇の影響で季節商品が好調に推移している。

(自動車業界団体)

- 登録台数については、一部メーカーの生産再開を受け徐々に改善されていたが、6月に他メーカーの認証不正問題が発覚したことで再び落ち込んだ。

(リサーチ会社)

- 定期便再開によって、宿泊施設におけるインバウンド需要はアジア圏を中心に増加基調にある。

(宿泊業界団体)

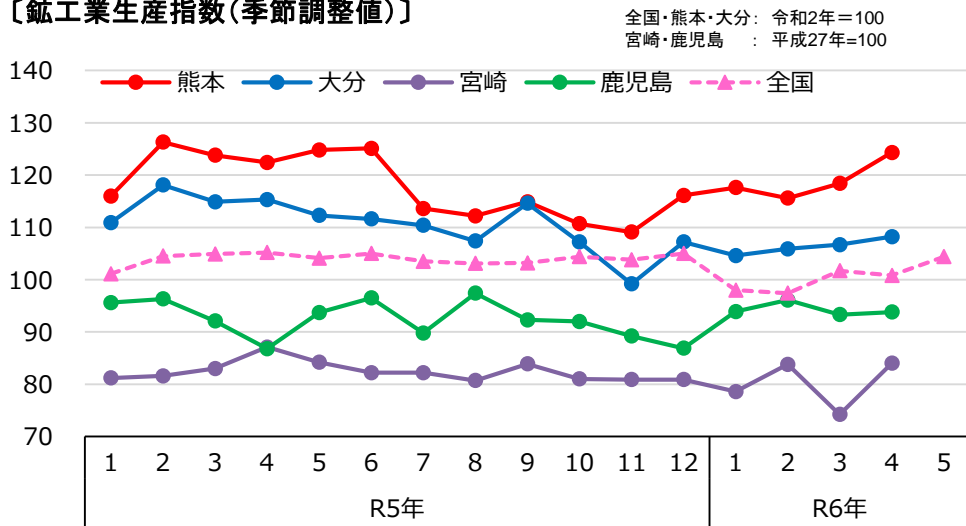
- 宿泊料の値上げによって利用客が減少したという話は聞いていない。

(大型商業施設)

- コロナ5類移行後は飲食店の客数の増加基調が続いており好調。

2. 生産活動 ～横ばいの状況にある～

〔鉱工業生産指数(季節調整値)〕

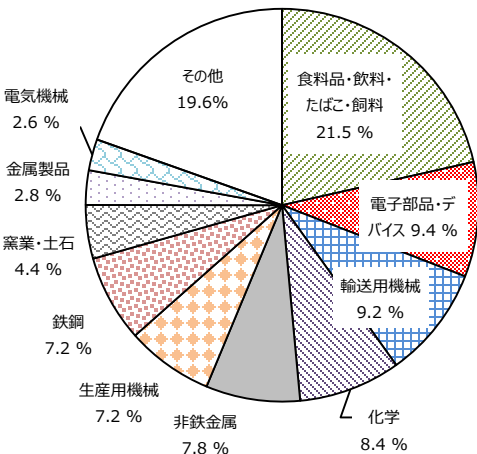


(注)各県の6年4月は速報値。

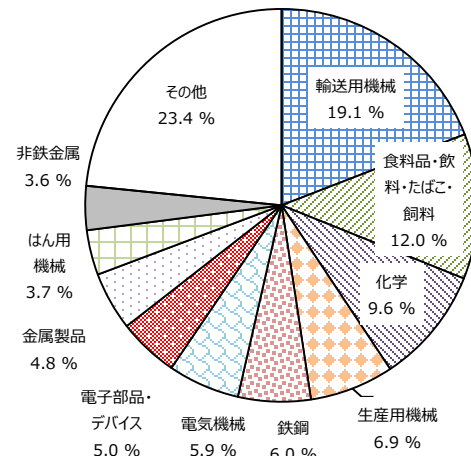
(出所)経済産業省、各県

(参考)産業別製造品出荷額等(令和3年実績)

〔管内〕



〔全国〕



(出所)総務省・経済産業省「令和4年経済構造実態調査」

- 食料品等は、外食向け需要が堅調なこともあり、持ち直しつつある。
- 電子部品・デバイスは、海外経済の減速などの影響がみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。
- 汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置を中心に増加している。
- 化学・石油製品は、弱含んでいる。

※ 主なヒアリング結果

(食料品等)

- 業務用飲料が回復し、コロナ前の生産水準に戻っている。今後も業務用、家庭用ともに安定した生産が続いていく見込み。

(電子部品・デバイス)

- スマートフォン市場が長いレンジで緩やかに回復していくとみているほか、高付加価値化により生産額が増加している。

(汎用・生産用・業務用機械)

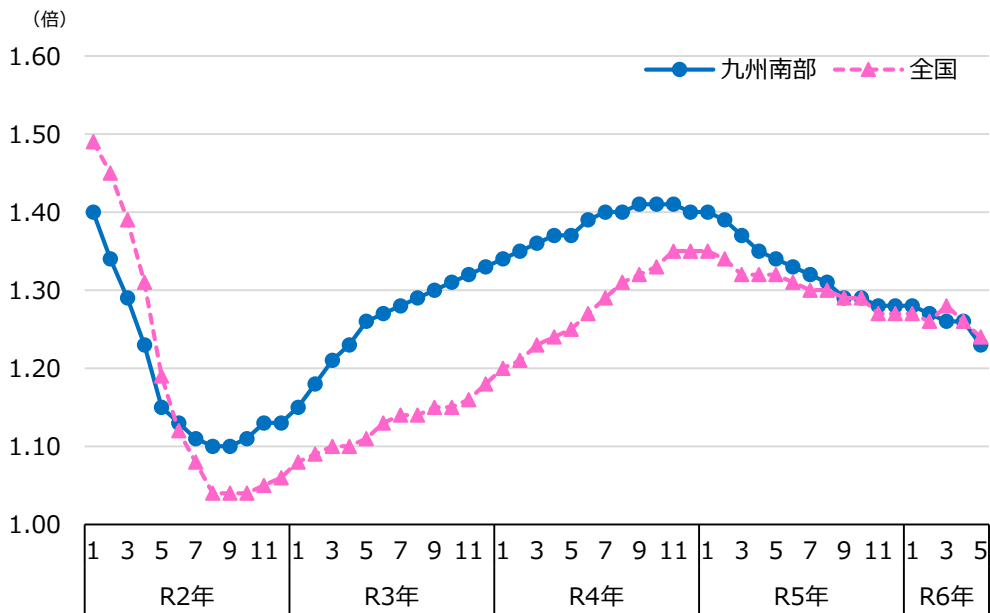
- 半導体関連について、設備投資の延期や中止の影響からの底打ち感があり、今後に向けて伸びてきている。

(化学・石油製品)

- 海外経済が回復しないなか、海外プラント新設の影響により需要が低迷している。

3. 雇用情勢 ～持ち直している～

〔有効求人倍率(季節調整値)〕



(注)パートを含む。

(出所)厚生労働省、各労働局

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

※ 主なヒアリング結果

(公的機関)

- 物価高による高齢者の求職増や、賃上げの動きを受けた転職希望者の増加により有効求人倍率は低下しているものの、半導体の在庫調整局面が変化しつつあり、将来を見据えた人材確保の動きがみられる。

(宿泊業)

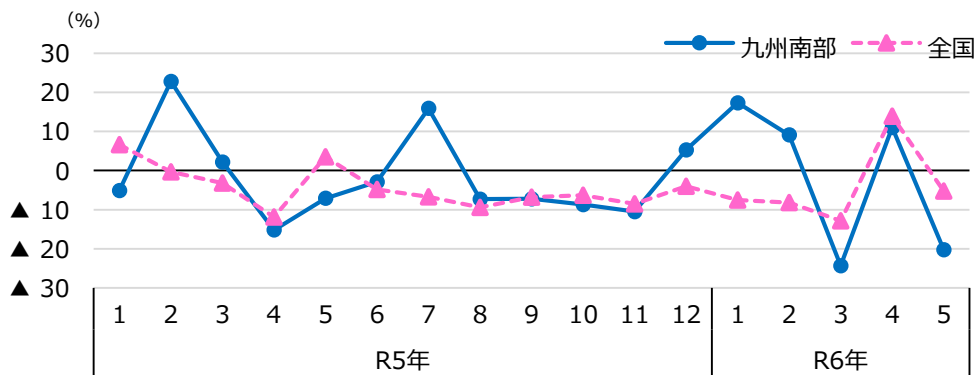
- 慢性的な人手不足であり、常に募集しているが応募が少ない状況が続いているため、スポットワークも活用している。

(飲食業界団体)

- 人手不足対策として、タブレットや配膳ロボットの導入が進んでいる。

4. 住宅建設 ～一進一退の状況にある～

〔新設住宅着工戸数(前年比)〕



(出所)国土交通省

新設住宅着工戸数を見ると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っている。

※ 主なヒアリング結果

(公的機関)

- 資材価格や人件費の高騰には一服感があるものの、高止まりしている。持家は設計等のコストもかかることから、分譲戸建てよりも2割ほど高くなる傾向にあり、分譲戸建てに需要がシフトする動きがある。